

### 様式 3

論文審査の結果の要旨	
氏 名	フリガナ 中野 裕貴
学 位 の 種 類	博士（ソフトウェア情報学）
学 位 記 番 号	甲第 42 号
学位授与年月日	平成 28 年 3 月 18 日
学位授与の根拠	岩手県立大学学位規則第 3 条第 3 項（論文博士の場合は第 3 条第 4 項）
学 位 論 文 題 目	寒冷馴化を考慮した服装情報提示指標に関する研究
論 文 審 査 委 員	主査 村山優子 副査 村田嘉利、佐々木淳
審査結果の要旨	
<p>本研究では、気象情報学という新たな研究領域の中で、気象に基づく服装情報提供について、従来の快適指標では、寒冷地域における快適な服装指標の提示が不十分であるという問題提起を行い、実際の寒冷地の人々の感覚に近い、快適指標を作成した。予備調査では、岩手県立大学の学生への質問紙調査を実施し、在住年数 1 年目以内では寒さに慣れないが、1 年経つと寒さに慣れることが判明し、車に乗ることで寒さにより我慢できることが判明した。これに基づいて、寒冷馴化の影響を考慮した新たな服装算出式を考案した。新たな式では、在住期間が 1 年未満のユーザと外出先への交通手段が乗用車であるユーザを除く冬期の寒冷地の被験者のための新たな服装算出式を作成した。新たな服装算出式による快適指標の検証のため WEB 上での大規模調査を実施し、新たな服装算出式の適合性が高いことを示した。</p> <p>審査では、東北地方の被験者の調査結果および分析に関して、さらに、予備調査の学生と同様に、WEB 調査の 10 代 20 代に着目した分析について追記する必要があるとの指摘を受けた。</p> <p>また、九州地方および沖縄や東京の被験者の調査結果と分析に関して、素材による違いがあるのではないかと指摘を受け、個々の単品衣類によって暖かさなどがどの程度違うのかについて追記する。</p> <p>この他、国際会議での発表に際し、米国の研究者からの助言に基づき、服装算出式の求め方に関して線形ではなく、非線形の式の適応をできるだけ試み、追記することとした。</p>	

今後、以上の点について、適宜、加筆や、今後の課題への提示などを行い、最終論文を作成することとされた。これらの加筆事項は、本研究の今後の展開にもつながり、今後のさらなる研究成果が期待できる。

以上、追記は多少あるものの、気象情報学という新たな分野を切り開いた研究内容であり、新規性も高く、学位取得に十分な成果と認められ、合格とした。